



# たたらで町おこしを

内田 勇 議員

**町長** たたら製鉄を地域振興のツールとして日本だけでなく世界に発信していきたい



**問** 2月20日に松江市のくにびきメッセにおいて、たたら製鉄の歴史や世界的な価値を検証するシンポジウムが盛大に開催されました。この中で世界遺産登録をめざしての提言がありました。今後の取り組みは。

**答** 安来市、雲南市、奥出雲町の2市1町で構成している鉄の道文化圏推進協議会の主催で開催したたら製鉄の世界的価値を再認識し、日本や世界人類史上に普遍的価値を持つ財産であることを確認できました。

たたら製鉄に人間の生活活動と自然との共生、地域振興のツールとしての新たな意義を見出し、日本だけでなく世界に発信してまいりたい。

**問** たたらシンポジウムでの鳥上、横田、八川、馬木の4校の小学生のたたら体験学習の事例発表は好評でした。

この中で大人たちもたたら体験学習をしたらいとの提案があったが、子供たちも、暑い、汚い、きついという言葉でのべていたように大変な作業であります。実際に「けら」が誕生するという経験は感動的なものによつてです。

文化協会や、関係組織と連携しながら実施に向けて検討したい。

**問** 大人も子供も一緒に炭焼き体験学習のできる施設を鳥上地区だけでなく各地区に順次作って、生産と森林の再生を両立させ、温暖化防止や環境問題、ものづくりを考える時大変重要と思うが。

**答** 各地区に炭窯をつくらせていくことは、森林の

再生、あるいは木質バイオマスを推進する、炭を焼いて暖をとる、石油ストーブから炭火鉢への転換も図れますので計画的に取り組んでまいりたい。

**問** 奥出雲町内には、日刀保や、たたらと刀剣館、絲原記念館、可部屋集成館などのたたら関連施設のほかに、多くの観光スポットがあります。

これらの観光スポットを「奥出雲ガイドブック」として、スタンプラリーの台紙や完走賞をつけて町おこしのツールにしてはどうか。

**答** 鉄の道文化圏推進協議会の事業として取り組むことができるか早急に検討したい。

**問** 昨年10月1日の国税調査の速報値によると町内の人口は、平成17年の1万5千812人から1万4千458人と、5年間で1千358人も減少し、マイナス8.6%と大幅な減少率であるが人口減少対策は。

**答** 人口減少は日本全国あるいは先進国共通の大きな課題であり、出生者をふやす、いかに安心し

て子供を生み育てていくことができる環境づくりを進めるのが一番大事であります。

**問** 人口減少は、経済の縮小を招き、特に生産年齢である16歳から64歳の人口減少が地域の衰退を招いております。

行政はもとより、地区や集落挙げて婚活支援や就活支援を惜しまず、もっと若者を大事にしていく、もっと人に投資を。

**答** 若者が安心して結婚でき、子供をつくっていくためには、若者への所得移転をすべきなどの議論もあり、いかにして多くの子供が生まれてくれる地域にしていくかに全力で取り組んでいきたい。

**問** 胃がんは、生活習慣病ではなく、ピロリ菌により発病する感染症であり、1次予防としてピロリ菌の除菌治療で90%が死滅するといわれるが。

**答** ピロリ菌対策については検討します。

がん検診の重要性の啓発、受診しやすい体制づくりなどの施策を進めてまいりたい。